

試験科目	人間社会研究科 福祉社会専攻 (一般選抜) (社会人自己推薦選抜) (外国人留学生選抜)	氏名				
専門科目		受験番号				

1. 下記の事項から2項目を選び、各項目について120字程度で説明しなさい。

選択した項目の記号 (ア) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

出題の意図

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の構築についての知識を問う
出題

<解答例>

精神障害の有無を問わず地域共生のために医療、障害福祉・介護、住居、社会参加（就労等）、地域の助け合い、普及啓発（教育等）の包括的な確保を目指す政策理念である。ケアシステムの構築には、市町村と医療・福祉の支援機関等の重層的な連携が鍵となる。

選択した項目の記号 (イ) 就労定着支援事業

出題の意図

障害者総合支援法に基づく就労系福祉サービスに関する知識を問う出題

<解答例>

就労移行支援等を利用して、企業に新たに雇用された障害者に対し、雇用に伴い生じる生活上の課題に関する相談、助言等の支援を行う障害者総合支援法に依拠した就労系福祉サービスである。雇用後6月を経過した者が対象で利用期間は3年間となる。

選択した項目の記号 (ウ) 高齢者虐待防止法（高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律）

出題の意図

高齢者の人権擁護に関する基礎的な法律についての理解を問う出題

<解答例>

高齢者虐待の早期発見・早期対応を、国等の責務で促進することを目的としている。国民に虐待に係る通報義務を課し、市町村に相談・通報体制の整備を義務付けている。この法では虐待を、身体的虐待、介護・世話の放棄・放任、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待としている。

選択した項目の記号（ エ ） エンパワメント・アプローチ

出題の意図

ソーシャルワークにおける基本的なアプローチへの理解を問う出題

<解答例>

社会からの否定的な評価などにより抑圧状況に陥りパワーレスな状態にある人や集団に対して、発揮できていない自らのパワーに気づき、それを主体的に発揮できるように支援するアプローチのこと。アメリカの公民権運動の影響を受け、ソロモンが提唱した。

2. 下記の設題から1つを選び、1000字程度で論じなさい。

（各解答の最初に、選択した設題の記号を記すこと）

選択した設題の記号（ ア ）

令和5年5月31日に成立した「孤独・孤立対策推進法」の立法の背景と経緯、法律の目的について説明し、自治体における孤独・孤立対策の在り方について、あなたの考えを述べなさい。

出題の意図

近年メンタルヘルスと「孤独・孤立」との関連を指摘する調査・研究が報告されており、それらで注目されている「ひきこもり」「自殺」「依存症」いずれも若者支援と精神保健ソーシャルワークの今日的課題であるとの認識に基づく出題

<解答例>

論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①立法の背景にある我が国の孤独・孤立に関わる課題について、統計や調査などの根拠に基づき示すこと、②法律の目的について記すこと、③自治体における孤独・孤立対策の在り方について、自らの考えを示すことの3点を意識して論述してください。

選択した設題の記号（ イ ）

国連では様々な人権条約（「難民条約」、「子どもの権利条約」、「障害者権利条約」など）が締結されている。これらの人権条約の中から、日本が批准しているものを一つ選び、その条約の批准が国内の福祉政策に与えた影響を説明せよ。

出題の意図

国連で締結された人権条約を批准することで、それにかかわる日本の福祉政策は大きく変化した。こうした条約批准と政策推進との関係性についての基本的な理解を問う出題

<解答例>

論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①個々の条約を批准するにあたって、条約の趣旨に沿った国内法が改正されましたが、その内容に関する基礎的な理解を示すこと、②批准にともなう制度改正により、当該福祉政策に与えた影響に関する基礎的な理解を示すこと、③批准の影響の意義に関して自らの評価を示すことの3点を意識して論述してください。